



学校だより



1月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hatsunegaoka/> 令和 7年 12月24日

①発信する ②追究する ③粘り強く ④つながる ⑤思いや願いを実現しようとする ⑥課題解決する

学んだことを伝える

校長 坂本 陽子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに元日を迎えられることとお喜び申し上げます。保護者、地域の皆様、初音が丘小学校に関わっていただいている全ての皆様からのご理解、ご支援に感謝をいたします。

さて、12月に実施した「学びの報告会」では、生活科および総合的な学習の時間、各教科で積み重ねてきた学びを、子どもたちが様々な方法で発表する姿を見ることができました。今年度の取組には、地域にある公共施設の方々のご協力や、地域で活動されている皆さま、さらにはその分野の専門家の方々との出会いから学んだことを含め子どもたちの学びが校内にとどまらず、地域へと広く開かれたことが大きな特徴でした。公共施設を訪れて見学した経験、地域の方々から直接お話をうかがった時間、専門家の方に質問し、学びを深めた場面など、子どもたちは実際に触れたり聞いたり考えたりしながら、教科書だけでは得られない“生きた学び”を積み重ねてきました。その積み重ねが発表の姿にしっかりと表れ、自分たちが調べたことを自信をもって伝える姿は、まさに学びの広がりや深まりを示すものでした。また、子どもたちは発表を通して、自分たちの地域の魅力や働く人々の思いに気づくこともできました。地域社会に支えられて学んでいることを実感し、そのことが学びへの意欲につながっている様子をうれしく感じています。今回の経験は、「自ら問いをもち解決する力」「相手にわかりやすく伝える力」「友だちや地域と協働する力」など、これからの学びに欠かせない力を育む大切な機会となりました。

学びの報告会と同時に開催した学校運営協議会に参加くださった方からも感想を頂戴しています。学校運営協議会は、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、責任を持って学校運営に参画する仕組みです。委員は8名で年に4回開催しています。

○各クラスの発表は、研究発表のようで素晴らしかった。タブレットや映像を駆使して発表をしていた。将来プレゼンテーションをするような時にもつながると感じた。

○地域がよく絡んでいる活動が多いと感じた。地域と学校の連携が具体化されておりいい方向に進んでいる。クラスの皆で取組んでいるのがよく分かった。

○初音っ子はみんなフレンドリーだと感じた。各クラスの発表はどれもおもしろかった。初音が丘小学校は、生活・総合の材が豊富にあると思った。

というお話をいただきました。次回は2月に開催する予定です。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われることがあります。時が過ぎるのはあっという間で、今の学年で過ごせるのもあと3か月です。学び続けることを忘れずに、大切に過ごしていきたいと思えます。学校への引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

